

# 令和5年度 学校評価〈中間評価〉

## 学校教育目標

三大精神（質実剛健であれ・大道を闊歩せよ・弱音を吐くな）を実践し、自由と正義を尊び、利他の精神を持つ知力、体力、気力の充実した有為な青年を育成する。

## 重点目標

- ・教職員・保護者・地域が本校のあり方についての方向性をひとつにして、学校力（企画力・教育力・組織力）の向上をめざす。
  - ・生徒個々が「知力」・「活動」・「交流」をとおして人間力（魅力・社会力・生命力）を獲得する。
- ① 深く思考し、柔軟に判断するための確かな知の育成
  - ② 自分の道を知り、歩んでいくために、他と関わる力の育成
  - ③ 世界を切り拓いていくために、あきらめずに挑戦する力の育成
  - ④ 面倒見の良い学校、支え合う学校、いじめや体罰のない安心安全な学校づくり

## 評価の内容

領域	評価対象	評価項目 (重点課題)	重点目標との関連			評価の観点（活動目標）
			職員 評価	保護者 評価		
学校運営	地域・家庭との連携	A1 タイムリーな情報発信	③	A	B	学校Webページ等による 情報提供
		A2 学校と家庭との 情報交換	③	B	B	I C Tの効果的利用による 学校と家庭との双方向の情報交換
	学校環境・ 学校施設の向上	A3 学校環境の整備	①③	B	B	校内美化の推進 (部室周辺などの外清掃の 徹底)
	中期的な課題 への取り組み	A4 将来ビジョンの構築と 具体化	②③	B	B	現状と将来的な展望に対する 職員間の共通認識の構築
教育活動	進路支援	B1 生徒のキャリアデザイン を視野に入れた進路選択	①②③	B	B	進路情報の適切な運用と進路関係行事の円滑な運営 キャリア教育の充実
	学習支援	B2 授業の質の向上を計る	②③	B	B	授業評価の有効活用 ICT機器活用の推進 (授業公開・利用相談の 企画)
	生活支援	B3 全ての生徒が安全で 安心して充実した高校 生活を送ることができる 学校づくり	④	B	B	自転車利用マナーの向上
			④	B	B	情報モラル育成とネット トラブル防止のための取り組み
	生徒会指導	B4 自主性及び企画運営力の 育成	①②	B	B	積極的な日常活動の推進
			①②	A	B	縣陵祭での発想力と自主性の強化
部活指導	B5 効果的な指導による 生徒の育成	①②	B	B	生徒の活動のサポート	
		①②	B	B	計画的な活動の実践	

## 評価段階

- A 達成できている**    **B ほぼ達成できている**  
**C あまり達成できていない**    **D 達成できていない**